9/22 富良野の自然に親しむ集い 第5回「森のきのこに親しもう」

博物館講座

投稿者：:

Posted on : 2019-9-28 3:20:00

元・東大演習林教員の髙橋郁雄さんに案内してもらい、様々な広葉樹・針葉樹が織りなし市内でも樹種の多様性が特に高い「ラベンダーの森」（島の下地区）の各エリアを散策してきのこを観察、採集しました。

カラマツの森でラクヨウ（ハナイグチ）が多いのはご存じの方も多いことと思います。このように林相に応じて出現するきのこが違うことから、木と共生する共生菌や、有機物を分解する腐朽菌の生態を実感しました。

後段では、拾ったきのこを広げて、名前や食毒・生態を復習しました。このとき広げたきのこは40種類以上、観察中に発見したきのこは少なく見積もっても70種類以上でした。それでも髙橋講師は、20年ほど前と比較すると出現する菌類は激減しているといい、地域の自然環境が何か変化してしまっているようだと、懸念を示していました。

食毒や美味しい料理法などのレクチャーもあり、自然の豊かさを舌でも楽しむ観察会となりました。今年度のきのこ関係の行事はこれで終わりとなりますが、来年以降も「朝活！きのこ散歩」は継続的に実施する予定です。どうぞご参加ください。